



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 圭一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 水口 隆則

TEL 06-6231-9917

四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,883	6.4	356	15.0	355	14.1	238	20.3
26年3月期第1四半期	1,770	7.5	309	25.0	312	26.9	198	24.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	15.74	15.67
26年3月期第1四半期	13.16	13.04

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,255		5,565			67.3
26年3月期	8,233		5,501			66.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,558百万円 26年3月期 5,500百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	11.75	—	12.25	24.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	12.00	—	15.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,919	6.4	705	5.0	700	3.3	446	2.2	29.46
通期	8,120	6.3	1,555	11.9	1,550	10.6	988	12.1	65.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	15,920,000 株	26年3月期	15,920,000 株
27年3月期1Q	773,808 株	26年3月期	780,808 株
27年3月期1Q	15,140,830 株	26年3月期1Q	15,052,349 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報	
生産、受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円高の是正や株価上昇等が見られ、企業収益や設備投資及び雇用の改善といった景気回復基調が続いております。しかしながら、平成26年4月からの消費税率引き上げによる個人消費の弱含み、海外景気の下振れリスクなどを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、医療機器を取り巻く事業環境は、高齢化による需要の増加に加えて、院内感染や医療事故防止のための医療用消耗品は、ニーズが底堅く、国内外で需要拡大が続いております。さらに、医療機器産業はわが国の経済成長に寄与し得る産業として期待され、平成25年11月には改正薬事法の公布、平成26年5月には健康医療戦略推進法及び独立行政法人日本医療研究開発機構法の公布をはじめとした様々な施策により、国内医療機器産業の発展を促す環境は整いつつあります。しかしながら、国内外の電機メーカーを中心とした異業種からの新規参入や既存メーカーの新分野への積極的な取り組みなど、他メーカーとの競合は厳しさを増しており、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

#### ① 売上高

売上高は1,883百万円(前年同期比6.4%増)となりました。これは、主力のフィットフィックス関連では、手術室用の吸引器であるフィットフィックス及び病棟用の吸引器であるキューインポットが好調に推移しました。また、シリンジェクター関連では、特定保険医療材料であるPCAセットが好調に推移したこと等によるものです。

#### ② 営業利益

営業利益は356百万円(前年同期比15.0%増)となりました。これは、主として売上の拡大により売上総利益が増加したこと等によるものです。

#### ③ 経常利益

経常利益は355百万円(前年同期比14.1%増)となりました。これは、主として営業利益が増加したこと等によるものです。

#### ④ 四半期純利益

四半期純利益は238百万円(前年同期比20.3%増)となりました。これは、主として経常利益が増加したこと等によるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

流動資産は前事業年度末に比べて、30百万円増加し5,697百万円となりました。これは、主として原材料が39百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて、8百万円減少し2,557百万円となりました。これは、減価償却費が新規取得を上回ったことにより有形固定資産が7百万円、無形固定資産が2百万円減少したこと等によるものです。

#### ② 負債

流動負債は前事業年度末に比べて、44百万円増加し2,495百万円となりました。これは、主として未払金(流動負債「その他」)が255百万円、未払法人税等が178百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が390百万円、未払費用が54百万円、預り金が49百万円(流動負債「その他」)それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて、86百万円減少し193百万円となりました。これは、主として長期借入金が69百万円、長期未払金(固定負債「その他」)が17百万円それぞれ減少したことによるものです。

#### ③ 純資産

純資産は前事業年度末に比べて、63百万円増加し5,565百万円となりました。これは、主として利益剰余金が剰余金の配当により185百万円減少したものの、四半期純利益を238百万円計上したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、第2四半期累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成26年3月期決算短信(平成26年5月14日公表)に記載いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ○ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### ○ 減価償却方法の変更

従来、当社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法(ただし、平成10年4月以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用していましたが、当第1四半期会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、新製品上市に伴う設備投資及び既存製品の品質及び生産活動の見直しに関する中期的な施策の策定を契機として、減価償却方法について再度検討した結果、医療機器市場の安定的な需要の推移と市場の寡占化により安定的な需要を獲得しており、当社の有形固定資産は、今後も設備の稼働状況の平準化が見込まれることから、定額法が当社の企業活動をより適切に反映した減価償却方法であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4,125千円増加しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,960,267	1,921,628
受取手形及び売掛金	2,490,467	2,482,596
製品	683,246	677,562
仕掛品	51,335	64,206
原材料	234,117	273,272
繰延税金資産	196,285	196,285
その他	63,889	94,986
貸倒引当金	△13,318	△13,318
流動資産合計	5,666,291	5,697,219
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	769,274	763,797
土地	1,197,677	1,197,677
その他(純額)	334,442	332,849
有形固定資産合計	2,301,394	2,294,324
無形固定資産	93,261	91,151
投資その他の資産		
投資有価証券	6,263	7,233
繰延税金資産	48,948	48,603
その他	136,022	135,649
貸倒引当金	△19,000	△19,000
投資その他の資産合計	172,234	172,485
固定資産合計	2,566,890	2,557,962
資産合計	8,233,182	8,255,182

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	898,830	870,812
短期借入金	210,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	318,423	293,382
未払法人税等	300,876	121,933
未払費用	292,102	346,324
賞与引当金	—	7,105
その他	430,883	256,315
流動負債合計	2,451,114	2,495,873
固定負債		
長期借入金	248,168	178,870
その他	32,089	14,879
固定負債合計	280,257	193,749
負債合計	2,731,372	2,689,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	486,720	490,213
利益剰余金	4,612,155	4,665,081
自己株式	△94,558	△93,711
株主資本合計	5,500,192	5,557,458
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	565	1,189
評価・換算差額等合計	565	1,189
新株予約権	1,052	6,912
純資産合計	5,501,809	5,565,559
負債純資産合計	8,233,182	8,255,182

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,770,341	1,883,073
売上原価	867,991	906,807
売上総利益	902,349	976,265
販売費及び一般管理費	592,575	620,101
営業利益	309,774	356,164
営業外収益		
受取利息	146	125
受取配当金	126	160
受取補償金	683	2,016
保険解約返戻金	2,496	—
その他	792	878
営業外収益合計	4,245	3,181
営業外費用		
支払利息	1,741	1,119
新株予約権発行費	—	2,222
その他	214	92
営業外費用合計	1,956	3,435
経常利益	312,062	355,909
特別損失		
固定資産除却損	—	52
特別損失合計	—	52
税引前四半期純利益	312,062	355,856
法人税等	113,962	117,476
四半期純利益	198,100	238,380



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

## ① 生産実績

製品群	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器事業	500,596	+3.7
注入器事業	277,958	+6.2
電動ポンプ事業	30,555	+76.8
手洗い設備事業	68,885	△22.7
その他	37,837	+14.0
合計	915,833	+3.6

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 当第1四半期会計期間より、従来の「フィットフィックス関連」「シリンジェクター関連」「電動ポンプ関連」「手洗い設備関連」をそれぞれ「吸引器事業」「注入器事業」「電動ポンプ事業」「手洗い設備事業」に名称変更しております。なお当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

## ② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③ 販売実績

製品群	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器事業	1,118,882	+5.9
注入器事業	500,279	+10.7
電動ポンプ事業	43,119	+244.5
手洗い設備事業	155,243	△17.2
その他	65,547	+6.5
合計	1,883,073	+6.4

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 当第1四半期会計期間より、従来の「フィットフィックス関連」「シリンジェクター関連」「電動ポンプ関連」「手洗い設備関連」をそれぞれ「吸引器事業」「注入器事業」「電動ポンプ事業」「手洗い設備事業」に名称変更しております。なお当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。